

◎市長（山田憲昭君）

市内企業への健康支援策についてお答えをいたします。

市では、総合計画の将来都市像であります「健康で笑顔あふれる元気都市 白山」の実現に向けて、市民一人一人が健康で活躍し、笑顔があふれ、人・自然・産業が元気なまちづくりに取り組んでおります。

そして健康をより具現化するため、ことし3月には、人も自然も社会も全てのものが健康で健全で生き生きと活躍できることを願い、「健康都市 白山」を宣言いたしましたところであります。

これらを踏まえた企業への健康支援策であります。まずは白山商工会議所と連携し、働く世代の健康づくりを支援いたしております。

また、平成28年11月から開始した市民がいつまでも健康に笑顔で過ごせるまちづくりを推進するためにはくさんタニタ健康倶楽部においては、企業単位で会員を募集する説明会を開催し、より多くの登録に努めております。

また、企業会員の利便性を図るため商工会議所内に健康活動ステーションを設置し、活動量計リーダーライターと体組成計を配置しております。

さらに、平成29年3月には、白山商工会議所女性部におきまして、健康講座を実施したほか、平成30年3月には、白山商工会議所の会員を対象に糖尿病重病化予防セミナーを開催いたしました。

また、保険者協議会が毎年主催をする地域職域連携会議では、市と企業が健康などに関する情報交換を行い、地域全体の健康づくりの推進に努めております。

なお、多くの病気に起因すると言われております喫煙に対する市の対応につきましても、平成30年7月に健康増進法が一部改正され、令和2年4月から多くの人が利用する全ての施設が原則屋内禁煙となったことから、白山市工業団地事務局長連絡会議におきまして説明をし、周知をし、企業に対して禁煙を促しております。

また、白山市内の各商工会には、法改正の内容を情報提供するとともに、ポスターやチラシを配布し、周知啓発をいたしております。

今後の取り組みであります。健康づくりに関する情報提供や生活習慣病を予防するための支援等を初め企業の働き盛り世代の健康を守るため、引き続きはくさんタニタ健康倶楽部の普及を図るほか、健康診査の受診の勧奨、市独自の補助制度を創設した禁煙対策の実施、また特定年齢のがん検診の無料化や新たに作成をしましたウォーキングマップを活用した歩くことの推奨などさまざまな健康推進施策を実施し、健康に対する意識の向上に積極的に取り組んでまいりたいというふうに考えております。